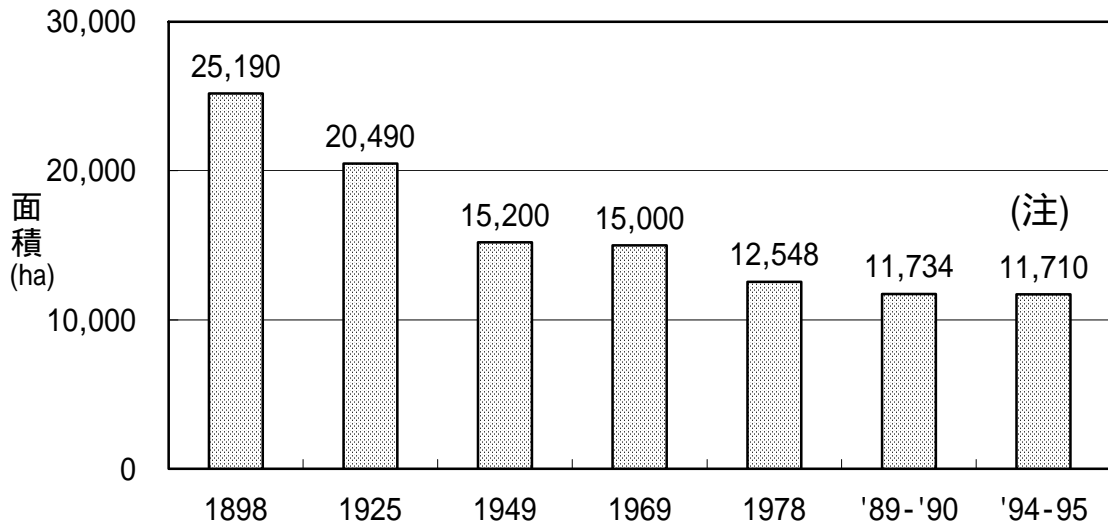


瀬戸内海の自然海浜・浅海域の現状

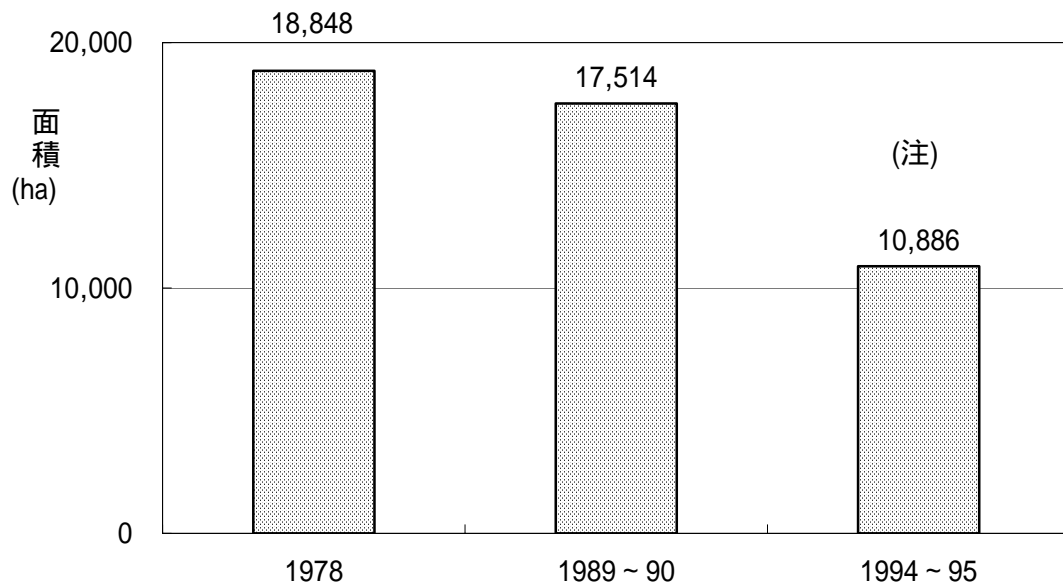


注) 94- 95 においては、兵庫県及び徳島県のデータが含まれていない。
出典により、面積測定方法に違いがある。

出典

- 1) 1898 年、1925 年、1949 年、1969 年：「瀬戸内海要覧」(建設省中国地方建設局)
- 2) 1978 年、1989 年～1990 年：第4回自然環境保全基礎調査(環境庁)
- 3) 1994 年～1995 年：第5回自然環境保全基礎調査(環境庁)

図1 瀬戸内海における干潟面積の推移

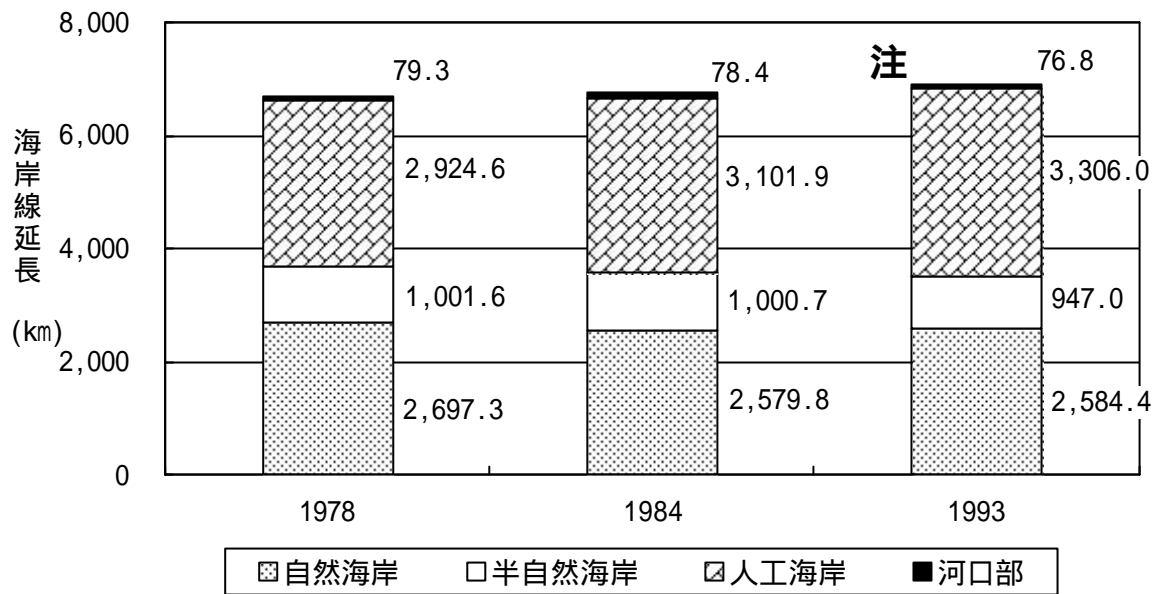


注) 94- 95 においては、兵庫県及び徳島県のデータが含まれていない。
94- 95 においては、10m 以浅の浅海域のみで測定。
出典により、面積測定方法に違いがある。

出典

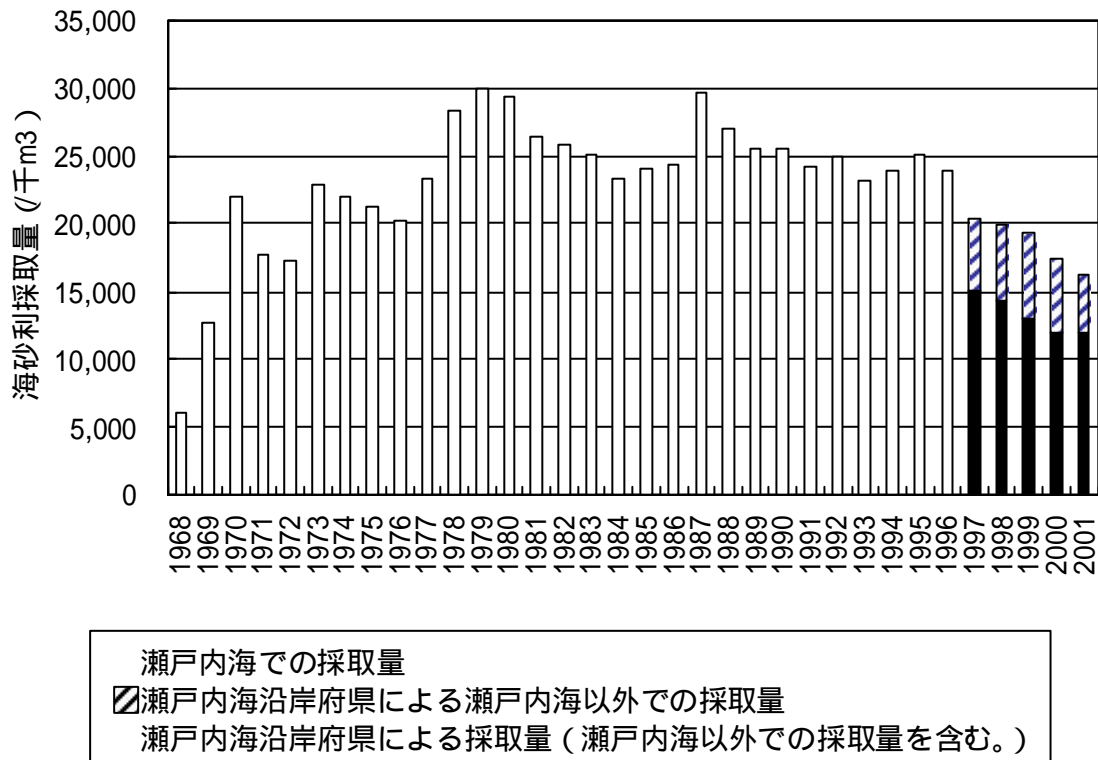
- 1) 1978 年、1989 年～1990 年：第4回自然環境保全基礎調査(環境庁)
- 2) 1994 年～1995 年：第5回自然環境保全基礎調査(環境庁)

図2 瀬戸内海における藻場面積の推移



出典 :1978年、1984年、1993年 :第2回～第4回自然環境保全基礎調査(環境庁)より作成
 注) 1993年については、第4回自然環境保全基礎調査(環境庁)を基に、一部海岸について海岸線延長をデジタルデータをもとに修正しており1978年及び1984年の数値とは算出方法が異なる。

図3 瀬戸内海における海岸線延長の推移



出典 :1968年～2001年 :砂利採取業務状況報告書集計表(経済産業省 国土交通省)

図4 瀬戸内海沿岸府県の花砂利採取量の推移(年度別)